

事務連絡  
平成28年1月7日

各府省庁情報セキュリティ担当課室長 殿

内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター  
内閣参事官（政府機関総合対策担当）

情報セキュリティ問題への対処について（注意再喚起）

平成25年12月12日に開催した情報セキュリティ対策推進会議(CISO等連絡会議)における標記申し合わせ(別添参照)に基づき、ソフトウェアのサポート切れや、複合機等インターネットに接続された機器といった影響範囲の広い問題について取組が進められてきました。他方で今般、同取組に関連し、大学等において複合機で読み取られた内部の情報が、インターネット上で誰でも閲覧できる状態になっていた旨の報道があったところです。

また、平成24年8月に、マイクロソフト社から「Internet Explorer のサポートポリシーについて、重要なお知らせ」が発表され、動作するオペレーティングシステムのライフサイクルに準拠していた Internet Explorer (以下、IE) のサポートポリシーが、平成28年1月12日(米国時間)を過ぎると、各オペレーションシステムの最新版の IE のみがサポート対象となることとなりました。

つきましては、改めて上記申し合わせの注意内容をご確認いただき、①サポート切れソフトウェア(特にIE)の使用回避、及び②複合機等インターネットに接続された機器のセキュリティ問題について、所管の法人に対する指導等を再度徹底するとともに、所要の対策を講じられるようお願いいたします。

(参考)

- Internet Explorer のサポートポリシーが変わります(マイクロソフト社)  
[https://www.microsoft.com/japan/msbc/Express/ie\\_support/](https://www.microsoft.com/japan/msbc/Express/ie_support/)
- 【注意喚起】 Internet Explorer のサポートポリシーが変更、バージョンアップが急務に(平成27年12月15日(独)情報処理推進機構)  
<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20151215-IEsupport.html>

問合せ先

内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター  
政府機関総合対策グループ 平川・横田・岩田  
03-3581-3959

## 最近の情報セキュリティ問題への対処について

平成25年12月12日

情報セキュリティ対策推進会議申し合わせ

本日の情報セキュリティ対策推進会議において、以下の情報セキュリティ問題について議論し、各府省庁により下記の対応を行っていくことを確認した。

### 1. ウィンドウズ XP 等のサポート終了問題

平成26年4月9日をもって、ウィンドウズ XP やオフィス 2003 等のソフトウェアに関して、マイクロソフト社による脆弱性へのサポート対応が終了するため、その後十分な情報セキュリティの確保が困難となる。関係ソフトウェアを新しいものに入れ替えるか、機器ごと更新するか、機器をインターネットに接続しないといった措置を、サポート終了時点までに適切に講ずる。

### 2. 複合機等のインターネットに接続された機器のセキュリティ問題

複合機をはじめとして、テレビ会議システムや防犯カメラ等、ネットに接続可能な機器が増えつつあるが、これらについて適切な設定を怠る場合、情報が流出したり、ウィルス感染や攻撃の道具として利用されるなどのセキュリティ上の問題が発生するおそれがある。適切な機器設定を行うなど、外部からの不正なアクセスを遮断する措置を手当てする。

## 記

上述の問題については、政府機関のみならず、関係公共機関や、広く各界各層に影響しうる問題であることに鑑み、各府省庁は以下の対応を行う。

イ. 自府省庁が管理する情報システムに関し、地方支分部局までも含め、必要な情報セキュリティ対策を点検の上、徹底すること。

ロ. 各府省庁の所管法人等に対し、必要に応じて政府機関と同様の措置を講じるよう、指導すること。

ハ. 各府省庁関係の各界各層に対し、情報セキュリティに関する注意喚起を発し、情報セキュリティ対策の必要性について周知すること。